

9月24日、農林畜産食品部は、京畿道坡州所在の豚農場のアフリカ豚コレラ（ASF）が確定したとの報道資料を発出しているところ概要以下のとおり。

<http://www.mafra.go.kr/mafra/293/subview.do?enc=Zm5jdDF8QE8JTJGYmJzJTJGbwWFmc mEIMkY20CUyRjMyMTQwOCUyRmFydGNsVmlldy5kbyUzRg%3D%3D>

【見出し】

京畿道坡州所在の豚農場でアフリカ豚コレラ（ASF）確定

【本文】

農林畜産食品部（以下「農食品部」）は9月23日、重点管理地域内に位置する京畿道坡州市積城面所在の豚農場（2,300頭余飼育）の疑い畜申告の件について農林畜産検疫本部において精密検査を実施した結果、9月24日午前4時頃、アフリカ豚コレラ（以下「ASF」）と確認されたと明らかにした。

*国内ASF診断：計4件（本日1、既発生3）

- 1) 9月16日申告 京畿道坡州市煙多山洞（ヨンダサンドン）所在の豚農場（9月17日確認）
- 2) 9月17日申告 京畿道漣川郡百鶴面（ペッカソミョン）所在の豚農場（9月18日確認）
- 3) 9月23日申告 京畿道金浦市通津（トンジン）邑所在の豚農場（9月23日確認）
- 4) 9月23日申告 京畿道坡州市積城面（チョクソンミョン）所在の豚農場（9月24日確認）

農食品部は、該当農場の疑い畜申告受付直後から現場に初動防疫チームを緊急投入し、人、家畜及び車両に対する移動統制、消毒など緊急防疫措置を取ってきた。

今回、ASFと確定されたことを受け、殺処分措置を直ちに実施し、発生原因の把握のための疫学調査を進めている。

畜産農家及び畜産関係者に対しては、農場及び関連施設に対する消毒など徹底した防疫措置を履行し、綿密な臨床観察を通じて疑い畜が発見された場合には速やかに届け出ることを要請した。

（以上）